

半促成ノーネットメロンの品種特性

進藤幸広・松尾良満 (佐賀県畑作試験場)

Yukihiro SHINTO and Yoshimitsu MATSUO : Varietal Difference of the Semi-Forcing Melon in Plastic Greenhouse

ハウスメロンは、プリンスを中心に多数の品種が栽培されているが、今後は消費嗜好にマッチした品種の導入が重要と思われる。そこで、1985年から3カ年、早生性で大玉の24品種について調査するとともに、仕立て方法、貯蔵性について検討したので報告する。

1. 試験方法

播種は、1985年が2月13日、1986年が1月13日、1987年が1月16日、栽植距離は、立作りが畦幅180cm株間35~40cm、地這が畦幅250cm株間40cmの無加温栽培とした。着果は、CPA150ppm + GA₃ 25ppmの子房噴霧処理とした。施肥量は、N 6~8、P₂O₅ 20、K₂O 17kg/10aとした。

2. 結果及び考察

1) 生育 定植後30日目では、キンショウが最も茎長・展開葉数ともに大きな値となったが、53日目では、ホームラン改、パパイヤ、シーボルト206が旺盛な伸びを示した。

2) 果重 3年間の平均果重は、キンショウを除き800g以上となった。しかし、カントリーの株4果どりは着果、玉揃いが不安定で問題と思われた。

3) Brix 1985年は、定植が遅れたため収穫期が梅雨期となり、キンショウを除いていずれの品種も14度以下と低かった。1987年は、パパイヤ、カントリーが収穫間際のいちょうのためやや低くなったが、他の品種は高

糖度となった。3カ年の結果では、いずれの品種も14度以上の高糖度となった。

4) 仕立て方法 パパイヤ、カントリー、さわやか、ハミウリの4品種で調査した結果、果重は、パパイヤでは差がなかったが、他の品種は地這の方が20~30%重くなった。また、保温性、省力化等の面から考えると、地這栽培が有利な栽培法と思われた。

5) 貯蔵性 パパイヤ、さわよかのスペイン系メロン2品種について調査した結果、糖度は収穫後3日目、6日目とやや増加し、その後減少傾向に転じ、9日目には収穫当日と同じとなり、15日目には1度ほど低くなった。

6) 成熟日数 最も成熟日数が短いのはシルキーで37日前後で収穫可能となる。次いでキンショウ・サンキューの40日前後、カントリー・シーボルト206が43日前後、しらゆきEL・ホームラン改・グリムが45日前後、パパイヤが47日前後で成熟すると思われた。

以上の結果から、仕立て方法としては地這栽培が有利であり、またスペイン系統のメロンは、貯蔵性の高い発酵の少ないメロンであるが、食味適期としては、収穫後6~9日と推察される。当地域で有望と思われた品種は、早生・緑肉のサンキュー、果実肥大性に優れるホームランスター改良系であり、本年度始めて試作したグリムは、外観、品質ともに優れた面が多くさらに検討を加える必要がある。

第1表 ハウスノーネットメロンの生育(地這栽培)

(1987)

品種名	3月19日 (30日目)		4月11日(53日目)					
	茎長	葉数	茎長 (cm)	葉数 (枚)	茎径 (mm)	茎葉重 (g)	節間長 (cm)	葉面積 (cm ²)
パパイヤ	37.9	6.1	132	20.0	7.1	534	31.8	6,824
しらゆきEL	28.0	5.4	124	20.5	7.6	496	33.5	5,938
ホームランスター改	24.1	5.7	143	22.0	11.1	421	35.5	5,520
キンショウ	45.1	6.8	131	19.5	9.3	390	37.0	5,210
カントリー	32.2	6.4	112	16.5	6.9	395	39.0	4,558
サンキュー	26.6	5.6	109	17.5	7.5	274	39.5	3,817
シーボルト206	26.4	5.6	130	22.0	9.3	477	34.0	5,061
シルキー	32.0	6.6	126	20.0	6.4	380	33.0	4,544
グリム	22.2	5.4	107	18.0	5.5	283	33.0	4,662

注) 節間長は、10~15節間の長さ、()内は定植後の日数、ホームランスター改はホームランスター改良系

第2表 ハウスノーネットメロンの品種別果実特性

(地這栽培)

(1987)

品種名	平均 (cm)				1果平均重 g	
	果長	果径	肉厚	Brix	1987	1986年
パパイヤ	14.9	10.1	2.7	13.8	739	1,010
しらゆきEL	10.9	11.0	3.2	16.8	680	1,013
ホームランスター改	12.9	11.3	3.5	14.8	847	1,335
キンショウ	12.0	10.3	2.5	16.3	641	745
カントリー	15.1	10.5	3.1	13.9	814	1,264
サンキュー	12.2	10.8	2.9	14.5	789	790
シーボルト206	11.9	11.6	3.6	15.8	789	851
シルキー	11.9	10.5	3.0	14.2	679	—
グリム	11.8	10.5	3.0	16.9	650	—

注) 1986年のシーボルト206はシーボルトでの調査値、ホームランスター改はホームランスター改良系